

整理番号	MJ-0402
作成	S51.01.30

機 械 操 作 切 換 弁
取 扱 説 明 書

適 用 機 種

DRT-02

DRG-02

DCT-01

DCT-08

DCG-01

DCG-08

油 研 工 業 株 式 会 社

☆該当するE Iシートおよび構造図を添付のこと

MJ-0402

/

1. 保 守

作動油の管理、フィルタの点検など、油圧装置全体に共通する注意事項のほか、日常下記事項を点検してください。

もし、異常が認められれば、「5. 故障の原因とその対策」の項をご参照のうえ処置してください。

- 1) スプールは正常に切換っているかどうか？
- 2) 外部への油漏れはないか？

2. 分 解

2.1 分解前の準備

- 1) 次のものをご用意ください。
 - a. 清浄な洗い油（灯油または軽油）……部品洗浄用
 - b. 装置の使用油と同一の清浄な作動油……部品潤滑用
- 2) 装置は運転を停止し、圧抜きを完全に行い、使用電源のスイッチを切っておいてください。

2.2 分解作業上の注意

構造図をご参照のうえ、順次分解してください。

その場合、下記事項にご注意ください。

- 1) 部品を絶対に傷つけないこと。
- 2) 部品を汚染させないこと。（部品を並べる面は清浄に）
- 3) 装置の開口部（弁取付面）にはカバーをかけ、異物の混入を防ぐこと。
- 4) 後刻、組立を正確に手際よく進めるために、部品はきちんと整理して並べること。

3. 検査・修理

下表に示す検査の要点に沿って各部品を検査してください。

傷が小さい場合には、エメリーペーパーまたはラッピングにより入念に修正してください。再使用不能の場合は交換してください。

2040-JM

部品交換の際は、構造図に記載された名称、図番、個数を明記してご注文ください。

部品名称	検査の要点
ボデー	○ グループおよび通路などの異物の付着の有無を点検 ○ スプールの摺動部の傷・摩耗の程度を点検
スプー	○ 摺動部の傷・摩耗の程度を点検
リング	○ 弾力性の程度および永久変形や傷の有無を点検

4. 組立

構造図をご参照のうえ、分解と逆の手順で組立ててください。

その場合下記事項にご注意ください。

- 1) 部品を清浄な洗い油で良く洗浄すること。
 - 2) 洗浄した部品を清浄な作動油に浸すこと。
 - 3) 部品を絶対に傷つけないこと。
 - 4) 組立中に異物が混入しないようにすること。
 - 5) スプー
- リングは組込みに方向性がありますので、(DCT, DCG) 添付構造図を参照のこと。
- 6) 組立完了後は、レバーを押してみ、スプー

5. 故障の原因と対策

故 障	原 因	対 策
スプールの切換えが緩慢	作動油中の異物が摺動部へくい込んでいる	弁を分解し洗浄する 作動油の汚染具合を調べ、汚染が著しい場合はフラッシングあるいは新油との交換を行なう
スプールの作動不良	作動油中の異物によりスプー ールが固着あるいはかじり を発生している	弁を分解し、洗浄する。カジリを発生して いる場合は部品を手直し、あるいは交換す る。作動油の汚染具合を調べ、汚染が著し い場合はフラッシングあるいは新油との交 換を行なう
	分解後再組立の誤り	正規組立に戻す
流れ方向の誤り	カムとローラの位置関係 不良によるストローク不足 (DCT, DCG)	相対位置の再調整
	スプールの形式の誤り	正規スプールと交換
	スプールの組込方向の誤り	正規組立に戻す
	配管の誤り	配管ポートを確認し処置する (E Iシート 参照)
外部に油が漏れ る	取付ボルトのゆるみ	ボルトを増締めする (サブプレート取付形)
	Oリングの損傷または老化	新品と交換する

MJ-0402